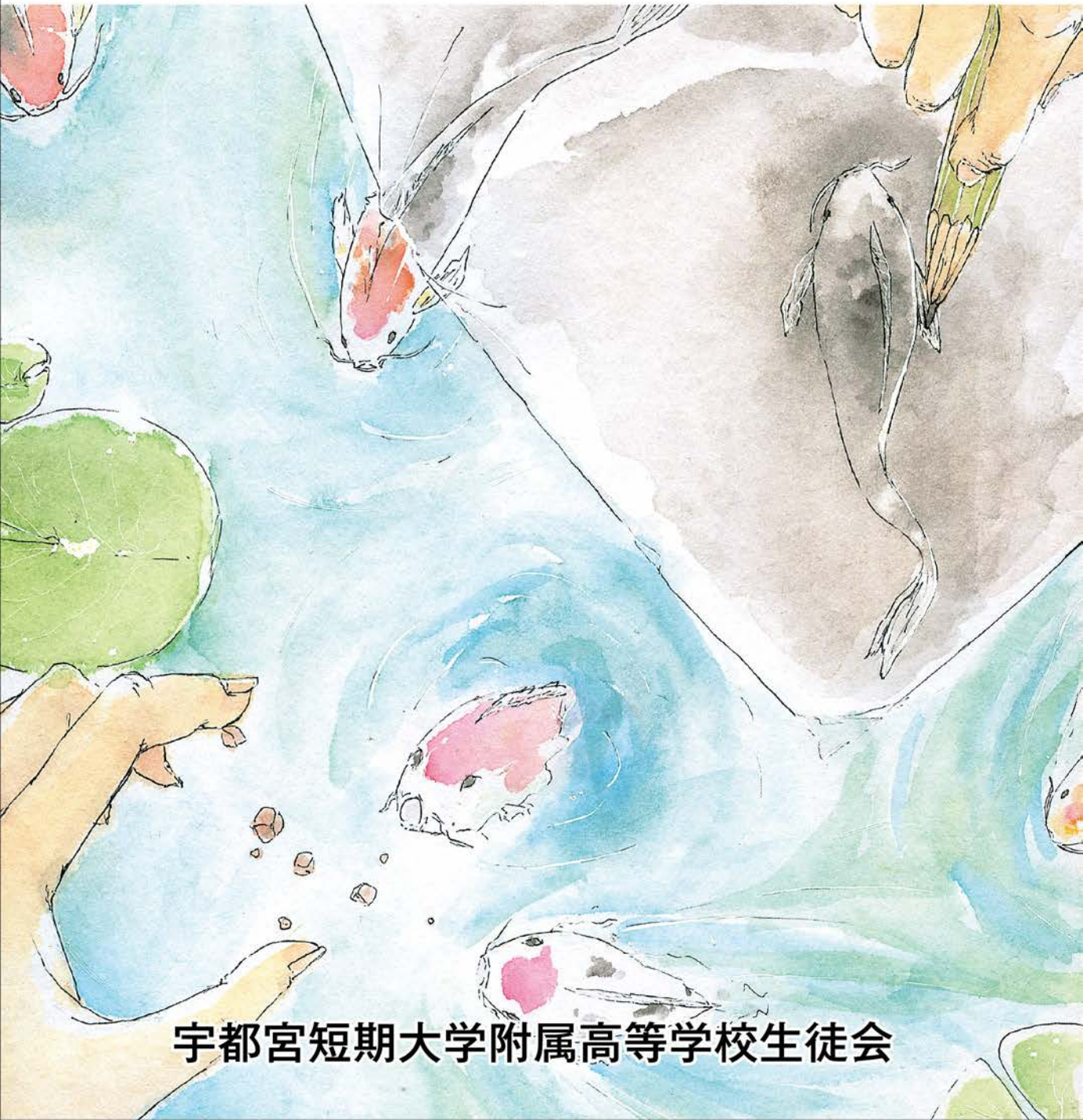


ひめまつ

71



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ
目次
第七十一号

表紙……落合 祥子
校歌 題字……石川 木魚
生活目標

グラフ
「学園の四季」「写真部作品」

論説

オリパラに向けた「とちぎ版文化プログラム」
――発見、英語、体験――
…… 校長 須賀 英之 …… 1

特集1
第三体育館完成！ …… 4
本年は硬式野球場も完成！

特集2
教育の充実 …… 5
ICTで育む力　くラーニング・コモンズ教室の完成く
学校を飛び出して　く各科の取り組みく
普通科／音楽科・生活教養科・調理科・茶道部・書道部／情報商業科／オーストラリア語学研修旅行

特集3
全国高校サッカー選手権大会で大活躍！ …… 7

声 須賀学園

2017

宇短附の魅力と運動施設編

恵まれた環境の中で

一年二十四組から見える体育館

夢を叶える場所

魅力あふれるサッカーグラウンド

運動施設の魅力について

さらなる充実を！

一年	五組	菊地	優真
一年二十四組	鯉沼	朱音	
二年	十九組	高柳	まどか
二年	二十組	栗原	朋花
三年	六組	齊藤	翼
三年	十五組	結城	麗男

平成二十八年度 校内読書感想文コンクール入賞者

心に強く響くもの

校内読書感想文コンクール入賞作品

【第三学年の部】校長賞

第一位 宮下 奈都 著「太陽のバスタ豆のスープ」を読んで

第二位 あさの あつこ 著「スパイクス ランナー」を読んで

第三位 梨木 香歩 著「西の魔女が死んだ」を読んで

【第二学年の部】校長賞

第一位 川口 俊和 著「コーヒーが冷めないうちに」を読んで

第二位 平山 譲 著「ファイブ」を読んで

第三位 O・ヘンリ 著／大久保 康雄 訳「最後の一片」を読んで

【第一学年の部】校長賞

第一位 河内 鏡太郎 著「ハーレムの闘う本屋」を読んで

第二位 野呂 邦暢 著「失われた兵士たち」を読んで

第三位 太宰 治 著「人間失格」を読んで

三年	二組	植竹	里菜
三年	二組	飯塚	裕登
三年	一組	大門	絢音
二年	一組	八幡	絵織
二年	七組	佐藤	桃花
二年	一組	浅田	楓加
一年	一組	内海	和音
一年	五組	原	琢真
一年	九組	大森	茉緒

各種コンクール入賞作品

【心の輪を広げる体験作文】

高校生部門 佳作

【第四十九回手紙作文コンクール（はがき作文部門）】
入賞

【宇都宮税務署「高校生の税に関する作文」】

宇都宮行政協力会長賞

【「税の百人一首」】宇都宮税務署

宇都宮税務署管内租税教育推進協議会長賞

【第十一回キャリア（進路）についての生活文コンテスト】

生活文の部 佳作

【平成二十八年栃木県「人権に関する作文」】

優秀賞 寄り添うことで

【「とちの環県民会議「エコポエム」】

エコポエム優秀賞 私と地球の一分一秒

特別賞 花

特別賞 未来へ

あとらんだむ 生徒作品集

【一年間の反省と二年生になる抱負】

【二年間の反省と最上級生になる抱負】

【「人権に関する作文」】

個性

高齢者と人権

二年 三組 北條 萌香

一年 七組 江連 穂果

二年 一組 松本 唯希

三年 十二組 大場 健作

二年 四組 本郷 真由

二年 三組 高橋 知大

三年 四組 大橋 莉子

三年 三組 前田 豊徳

三年 四組 森田 実佑

旧・一年 六組 小野崎 里穂

旧・一年 十四組 大山 玲

旧・一年 十九組 平田 優衣

旧・一年 二十一組 吉田 美晴

旧・二年 二組 植竹 里菜

旧・二年 十一組 柴田 純華

旧・二年 二十二組 波戸場 現月

二年 三組 上田 遥奈

二年 二組 飯塚 絵理名

旅行記

【第二回 京都研修旅行】

京都研修旅行に参加して

【修学旅行】

終わらないもの

【一日旅行】

時の流れと季節の移ろいに想うこと

笑顔が倍になった一日

一日旅行

友情輝く一日旅行

新たな発見

将来へのステップ

将来への展望

Beautiful memories

受け継がれていく歴史や文化

充実した一日

将来に向けての第一歩

二年二十四組

中村 俊哉

二年 一組

阿久津 瑠南

一年 二組

秋田 静

一年 十八組

片岡 結希乃

一年 二十組

山岸 侑莉

一年二十三組

渡部 舞花

二年 三組

高瀬 滢那

二年 十組

猪狩 亮太

二年 十五組

須藤 ひかる

二年 十九組

平田 優衣

二年 二十一組

斎藤 拓海

二年 二十四組

橘川 巴

二年 二十五組

松田 ひな

わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

委員会・部活動報告

風紀交通安全・図書・美化・茶道・華道・書道・理科・服飾手芸・囲碁将棋・弓道・演劇・写真・吹奏楽・合唱・硬式野球・女子サッカー・男子サッカー・卓球・水泳・女子バレー・男子バレー・男女硬式テニス・男子ソフトテニス・女子ソフトテニス・バドミントン・男子バスケット・女子バスケット・柔道・男子剣道・女子剣道・スポーツチャンバラ・応援団・チアダンス・JRC・インターアクトクラブ・百人一首・ディベート・パティシエ・軽音楽・イラスト

附属中コーナ

この一年間のおもな活躍・クラス紹介・行事紹介・作品集コンクール入賞作品・校内読書感想文コンクール入賞作品・写真で見る中学校生活・部活動紹介

宇都宮共和大学・宇都宮短期大学コーナー

宇都宮共和大学／シティライフ学部 子ども生活学部

イベント・トピックス・在校生卒業生インタビュー・就学支援・スカラーシップ

宇都宮短期大学／音楽科・人間福祉学科

教育実習生、母校の教壇に

理科／横浜市立大学 山下 ゆかり

地歴公民／清泉女子大学
古山 夏実

音 楽／宇都宮短期大学 宇賀神 郁音

平成二十八年度生徒会報告

主な大学合格者数一覽(過去五年間) 主な就職内定状況(平成二十八年度)

編集後記

編集委員長・中村 瑞歩

校史と校章

学園の四季



新入生～高校生活のはじまり～



誓いの言葉～期待に胸が膨らみます～

入学式
4月

スポーツ
フェスティバル
6月



女子バスケットボール



男子サッカー



卓球



男子バレーボール

合唱
コンクール
7月



第50回 校内合唱コンクール

美しいハーモニー



創立
116周年記念
学校祭
11月

Keep your smile ～116年目の笑顔～

須賀学園創立116周年を記念した中学・高校合同の学校祭が11月3日に大勢のお客様をお迎えし、本学園教育会館と須賀栄子記念講堂大ホールにて盛大に行われました。

各科・各クラス・各部ごとに日頃の勉強や練習の成果を披露するとともに、絆を深める1日となったようです。



プラスバンドの演奏
(須賀栄子記念講堂大ホール)



野外ステージ



調理科



音楽科によるオペレッタ上演
(須賀栄子記念講堂大ホール)



模擬店の様子

生活教養科(須賀栄子記念講堂大ホール)



修学旅行 in 沖縄 H28.12

本格的な冬を前に、2年生は修学旅行に出発。現地では、12月とは思えない温暖な気候の中で、さまざまな体験を通して、友情を深めてきました。



首里城



エメラルド色の海をバックに!



郷土料理



サトウキビの収穫



イノー観察



平和の広場



ひめゆりの塔に献花



三線



美ら海水族館〜大迫力のジンベイザメ〜



おきなわワールド



準特選『今日も待つ』

1年1組 石田 千夏

＊写真部作品＊

第38回栃木県高等学校文化祭で
学校賞を受賞した
写真部の入選作品です。



佳作『息ぴったり』

1年1組 石田 千夏



佳作『奏』

2年4組 倉成 直佳



奨励賞『虹色の風』

1年1組 石田 千夏



奨励賞『喜びの笑顔』

2年16組 野木 一希



奨励賞『時の流れ』

1年18組 宮田 由季菜



奨励賞『哀愁』

2年4組 倉成 直佳



奨励賞『境界人』

2年7組 鮎澤 龍

論 説

オリパラに向けた「とちぎ版文化プログラム」

― 発見、英語、体験 ―

校 長 須 賀 英 之



文化プログラム

（カルチュラル・オリンピック・アード）とは

いよいよ二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピック開催まで三年余りとなりました。オリンピックとはスポーツの祭典だけでしょうか？ いえ、実は文化の祭典でもあるのです。

オリンピック憲章の最初に、「スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探索する」とあり、「求めるものは、努力のうちに見いだされる喜び、よい手本となる教育的価値、社会的責任、普遍的で根本的な倫理規範の尊重に基づいた生き方の創造であり、平和な社会の推進を目指す」とうたわれ、また第五章には「文化プログラムを計画し、IOC理事会に提出して事前の承認を得るものとする」と明記されています。

ロンドン大会の成功

そもそもは、「近代オリンピックの父」と呼ばれるクーベルタン男爵が、一八九四年六月二十三日、パリのスポーツ競技者連合会議で近代オリンピックの開催と国際オリンピック委員会（IOC）の設立を提唱し、古代ギリシャのオリ

ピックにならない、芸術競技を加えることとしたのです。実際に、第二次世界大戦前は、絵画・彫刻・音楽・建築・詩歌が正式種目としてあり、これらを競い合ってメダルが授与されていました。

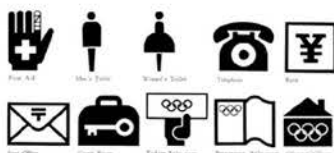


クーベルタン男爵

戦後の一九六四年の東京大会では、芸術・芸能部門十種目でさまざまな公演や展示が行われましたが、東京国立博物館で行われた『鳥獣人物戯画』や『平家物語絵巻』など国宝級の作品展示には、四十万人が来場しました。亀倉雄策氏の斬新なポスターデザインも注目を集め、今では広く使われている「ピクトグラム」も世界で初めて開発されました。



亀倉雄策氏の
1964年東京オリンピックの
ポスターデザイン



1964年東京オリンピックの
ピクトグラム

二〇〇四年のアテネ大会では、蜷川幸雄氏の古代劇『オイディプス王』が喝采を受けました。さらに、二〇一二年のロンドン大会では、かつてない規模の文化プログラムが英国全土で展開され、四千三百万人が参加しました。特に、障がいを持つ方や高齢者のためのアート活動支援、クリエイティブな音楽教育が推進され、観光や地域振興の面でも大きな波及

効果がありました。

さて、今回の「東京二〇二〇文化オリンピックアード」では、「あらゆる人々が参加できるプログラムを全都道府県で実施し、地域を活性化させる。多くの若者に文化芸術への参加を促進し、創造性を育成する」とこととなっています。

これを受けて、現在、「とちぎ版文化プログラム」が策定中であり、私は栃木県文化振興審議会会長として、直井文子教授（宇都宮短期大学音楽科学科長）も県文化プログラム推進協議会のメンバーとしてかわっています。その施策の三つの柱は、①「文化資源の磨き上げ（再認識と活用）」、②「文化情報の戦略的発信」、③「文化の担い手の育成」です。来年度から、具体的な活動が県内各地で展開されます。皆さんがこれらの文化プログラムを自分自身で楽しむために、その準備を今からはじめていただきたいと思います。

文化資源の磨き上げ―発見

本県には、文化資源が豊富にあります。これらの魅力を再発見し、「とちぎのブランド力」を強化することが一つ目の施策です。世界遺産「日光の社寺」、わが国最古の総合大学「足利学校」、益子焼や結城紬の伝統工芸品をはじめとして、皆さんの周りにある郷土料理、祭礼、伝統芸能、史跡・文化財・天然記念物・名勝などについて、まずは、その由来や歴史的価値などを、あらためて見つめ直してみてください。昨年、「烏山の山あげ」と「鹿沼今宮神社祭の屋台」が、「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録さ

れました。ぜひ、そうした現場を訪れて、実物に触れてみて
はいかがでしょうか。

文化情報の戦略的発信―英語

「日本の魅力を世界の人
へ（内閣官房オリパラ事務
局）」をスローガンに、外
国人向けの情報発信を強化
することが二つ目の施策の
テーマです。栃木県立博物
館など文化施設の多言語化に向けての施設整備が始まってい
ますし、ホームページやSNSなどを通じて本県文化の外国
人への情報発信が進みつつあります。

皆さんにとって、これから英語の勉強はまさに必須です。
日本語を話す人は日本の人口である、たった一億三千万人に
すぎませんが、英語を話す人は世界に約十八億人もいます。
英語によって世界各地の人とコミュニケーションができるの
です。



文化の担い手の育成―体験

三つ目の施策は、文化に親しむ態度を養い、伝統文化の次
代の担い手の育成や、メディア芸術など新しい芸術を振興す
ることです。

本校でも、近年、書道部、百人一首部、イラスト部などが
誕生し、校外のイベントやコンクールにも参加する機会が増

えています。若いうちから、地域
の文化資源や新たな芸術について
学び、それらを守り育てていくこ
と。その大切さについて理解を深
めていくことが、次代の文化の担
い手の育成につながるのだと思い
ます。様々な機会に、積極的に参
加してみてください。

栃木県では、オリンピックに向
けてキャンプ地を整備し、外国人
選手団を積極的に誘致しています。
東京から近く、魅力的な地域資源
に恵まれていることから、大会期
間中、大勢の観光客も本県に訪れ
ることでしょう。また、二〇二二
年の国民体育大会・全国障がい者
スポーツ大会に向けて、「とちぎ
版文化プログラム」による「レガ
シー（共通の宝物として未来の世
代に引き継いでいくべき文化）」
をさらに発展させることが大切で
す。

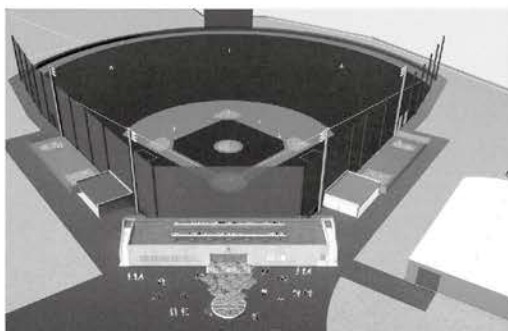
皆さんには、世界から注目され
る三年間を大切に、輝く有意義な
期間となることを大いに期待して
います。



東京2020文化オリンピック公認マーク

第三体育館完成！

本年は硬式野球場も完成！



▲硬式野球場（平成 29 年 7 月完成予定）

九月一日（木）から、第三体育館の使用を開始しました。柔道場・バドミントンコート・ダンススタジオがそれぞれ広々と設置されているほか、ロッカールームも完備されるなど、明るく機能的かつ安全性が確保された環境が整っています。

チアダンス部員は「ダンススタジオは、私たちの夢がぎゅっと詰まった宝箱。開放的な空間でダンスができる喜びを胸に、通行く人の視線を釘付けにできるようなパフォーマンスを披露したい」と意気込みを語ってくれました。部活動だけでなく、体育の授業でも利用されている第三体育館。生徒のキャンパスライフをよりいっそう充実させてくれるものとなるでしょう。

平成二十九年七月には硬式野球場も飯田町第四グラウンドに完成予定です。

特集 ②

教育の充実

ICTで育む力

「ラーニング・コモンズ教室の完成」

様々な情報資源を用いて議論を進めていく場として、ラーニング・コモンズ教室を、本校舎や教育会館に新設しました。

iPadや大型プロジェクトなどを使ったアクティブ・ラーニングを通じて、「知育・技能」のみならず、「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を学び、グローバル社会で活躍できる人材を目指します。



学校を飛び出して

「各科の取り組み①」

普通科

●大学学部研究会／八月四日

●理化学研究所見学会／八月四日

●獨協医科大学見学会／八月十日

●理科実験特別講座／八月十七・十八日

普通科の様々な進路選択の取り組みに、多くの生徒が参加しました。

大学学部研究会（東進ハイスクール主催）や理科実験特別講座（株式会社リバネス企画）では、日本を代表する著名な大学教授の講義を聞いたたり、「宇宙エレベーター開発」をテーマに大学の研究者と協同して実験しながら、学びの方法や学問の楽しさを知ることができました。

獨協医科大学や理化学研究所の見学会では物理学、化学、生物学、医学、看護学などの専門分野における



最先端の研究に触れ、進学に対するモチベーションも一層高まり、確かな職業観を得る有意義な機会となりました。

普通科では、こうした体験を通して、各自の夢の実現をサポートしています。

学校を飛び出して ～各科の取り組み②～

音楽科・生活教養科・調理科 茶道部・書道部



下野新聞社より提供

●日光英国大使館別荘開園イベント／八月六日
英国大使館別荘記念公園開園にあたり、栃木県と日光自然博物館の協力を得て、本校各科・各部生徒の日頃の学習や練習の成果を生かしたイベントが開催されました。

会場は、快晴のさわやかな日光中禅寺湖畔。音楽科は声楽や管楽器の演奏、生活教養科は宮楽めの販売や製作したドレスの披露、調理科とパティシエ部は日光ゆかりの徳川家にちなんだお菓子や英国イタリアのお菓子の販売を行いました。茶道部の野点や書道部のパフォーマンスも来場された方に大好評。新聞やテレビのニュースでも大きく取り上げられました。

情報商業科



▲歴史を感じさせる日本銀行本店

●日本銀行本店・東証アローズ見学／八月八日
情報商業科では、金融教育の一環として、日本銀行本店および東京証券取引所（東証アローズ）の見学会を実施。日本銀行や株式取引の中心である東証アローズを見学することで、経済や金融の仕組みについて理解を深めました。

参加した生徒は、「テレビの報道などでよく映し出される場所にいることに感動し、これまで以上に金融について興味が持てた。」とのことでした。

オーストラリア語学研修旅行

八月九日～十七日



夏休み中の九日間、ブリスベン郊外のハリスタウン高校に英語研修に行ってきました。ホームステイ先のホストファミリーや、学校で自分をサポートしてくれる生徒バディと過ごすことで、英語での会話にも次第に慣れていた参加者たち。

この研修旅行を通して、英語学習の重要性はもちろん、異文化交流の楽しさも実感し、自信に満ちた表情で帰国することができました。

全国高校サッカー選手権大会で大活躍!



秋晴れの空の下、十月十八日(火)昼休みに開催された壮行会で、応援団・チアダンス部・吹奏楽部をはじめ、大勢の本校生徒・教職員の応援を受け、力強く勝利を誓ったとおり、第九十五回全国高校サッカー選手権栃木大会において、本校サッカー部が大躍進をみせてくれました。

十一月五日(日)の準決勝では、前回覇者で本大会四連覇を狙う矢板中央高校に勝利。ここまでの二戦を無失点で戦ってきた相手チームのゴールを破ったのはMFの町山敦史選手(上河内中出身)。この一点が決勝点となり、本校は決勝に進みました。

決勝戦は十二日(日)。対戦相手は、前回大会準優勝の真岡を倒して勝ち上がった佐野日大です。会場となった県グリーンスタジアムは両校の応援団で満杯になりました。

前半七分、相手チームの先制を受けたものの、十五分、準決勝でもゴールを決めた町山選手が同点ゴールを決め、試合は盛り上がりです。後半、相手に二点を追加され、結果、試合は三対一に終わりましたが、年明けの全国大会で三位に入賞した強豪校相手に粘り強く戦った本校サッカー部。今後の活躍に期待がかかります。また同大会においてキャプテン花岡幸成選手(姿川中出身)をはじめとし、町山、藤塚(姿川中出身)、大山(旭中出身)、赤澤(姿川中出身)の五選手が優秀選手に選出されました。

「サッカー部の強さの秘密」

●本格的な練習環境

名古屋グランパス・湘南ベルマーレ等のプロチームのグラウンドや駒沢オリンピック公園総合運動場等で採用されている人工芝(ドリームターフPT)を使った本校グラウンド。公式戦にも使わ

れるこのグラウンドでは実践を意識した質の高いトレーニングが可能です。

●強化講習会の実施

Nikeエリート講習会や元日本代表キャプテン柱谷哲二氏を招聘しての講習会が本校グラウンドで行われた他、慶應義塾大学日吉キャンパスでは慶應大学・高校とのトレーニングマッチも定期的に実施しています。

二月には第一回ドイツサッカー海外研修旅行で世界最高クラスのサッカーを体感しています。

●文武両道の実現

「人生の基盤としてサッカーをとらえる」この意識の下、「本気」でサッカーにも、勉強にも、生活にも打ち込みます。

慶應義塾大学や国立大学医学部、千葉大学、中央大学法学部など、国私とも有名難関大学にも多くの部員が進学しています。





◆ ◆ 校 史 と 校 章 ◆ ◆

須賀学園は、昨年11月3日で創立116周年の記念日を迎えましたが、その6年前には創立110周年を記念して式典や演奏会、学校祭、大学祭が開催され、本学園の教育実践の全容を広く内外に示すことができました。

思えば、本学園は、明治33年(1900年)に須賀栄子先生によって創立されました。栄子先生は、女子に最も喫緊な技芸を教授され、その時代と境遇に順応すべき実践的婦人の養成を本学教育の趣旨となし、共和裁縫教習所から明治34年共和裁縫女学校、大正13年宇都宮須賀女学校、昭和7年宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、学校を発展させてゆかれました。その後を第2代校長の須賀友正先生が受け継がれ、昭和21年須賀高等女学校、同23年学制改革により宇都宮須賀高等学校と校名変更をし、さらに同42年宇都宮短期大学(音楽科)を新設し、現在の宇都宮短期大学附属高等学校となりました。

その友正先生の後を引き継がれたのが、第3代校長の須賀淳先生(須賀学園理事長)です。先生は、昭和58年宇都宮短期大学附属中学校(中・高6か年一貫教育)を併設され、宇都宮共和大学の開学、宇都宮短期大学の学科増設、須賀学園教育会館および第2グラウンドの新設と、学園を大きく発展されました。

そして、現在、一昨年4月に第4代校長に就任なさった須賀英之先生のもと、第3体育館が完成し、硬式野球場が新設されようとしています。

本校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉(本誌の巻頭を参照)の意味は、本校生徒の一人一人が、それぞれに自らの価値を知り、その価値を自覚して生活することこそ人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩にもなるというものです。ここには、創立者須賀栄子先生が掲げられた「全人教育」の精神が、100余年かわらずに脈々と生きづいています。

また、現在に至るまで、本校にはいくつかの校章がありましたが、現在の校章は、カタカナの「ス」の文字を3個組み合わせ、図案化した須賀家の合印で、その中央に「高」の文字が挿入されています。(合印とは、昔戦場で敵味方が入り乱れて戦うとき、その背に負って、敵か味方かが見分けられるようにしたものです。)これは、須賀家の家系譜からデザインして第2代校長の須賀友正先生が校章と定められたもので、文字は金色、生地は純白色ですっきりとしており、いかにも清潔な感じのする校章です。現校旗と同じ、昭和34年11月3日に、創立60周年記念事業の一環として制定されました。

高文祭写真展 **佳作**



Flight

2年10組 江俣 拓実